

# マラガ



[www.spain.info](http://www.spain.info)



# 目次

概要	3
地区ごとにマラガ体験	4
旧市街	
ラ・メルセ地区	
ラ・ビクトリア地区	
エンサンチェ・セントロ地区	
ラ・マラゲタ地区	
ヒブラルファロ山	
歴史公園と庭園	
文化	6
美術館・博物館	
マラガを味わう	7
季節ごとのマラガ	8
夏	
秋	
冬	
春	
ビーチ	9
自然	9
マラガで家族旅行	10
隠れ家的名所	10
公園と庭園	
知る人ぞ知る博物館	
モニュメント	
マラガの眺望	
夜を楽しむ	
街の散策とルート	12
マラガ周辺の見どころは?	13
コスタ・デル・ソル	
ロンダ	
アンテケーラ	
マラガへのアクセス	16
列車	
飛行機	
車	
船	
マラガでの移動	
マラガ観光案内所	

産業・商業・観光省  
出版元: © Turespaña  
作成: Lionbridge  
NIPO: 086-17-059-4

## 無料頒布

このパンフレットの内容は細心の注意を払って作成されています。もし誤りがございましたら、改善のために [brochures@tourspain.es](mailto:brochures@tourspain.es) までメールでお知らせくださいますようお願いいたします

表紙: 大聖堂、市役所とアルカサバ  
裏表紙: カミニート・デル・レイ (王の小道)

# 概要

パブロ・ピカソの生地として有名なマラガで、地中海沿岸アンダルシアのエッセンスを感じましょう。美しいビーチを散歩すると、アンダルシアの人々のオープンで明るい性格の源がわかります。温暖な気候に恵まれたこの地では、年間を通して海辺の散策を楽しめます。

マラガからは、コスタ・デル・ソルや高級かつゴージャスな雰囲気にも包まれた有名な街のマルベージャ、または心に残る景勝地などを訪れることができます。

文化に興味がある方には、マラガでパブロ・ピカソの生涯を辿り、ピカソ美術館で作品を鑑賞したり、アンダルシア絵画の至宝が展示されているカルメン・ティッセン美術館やポン

ピドゥーセンターを訪れることをおすすめします。約40の展示スペースが来館者をお待ちしています。

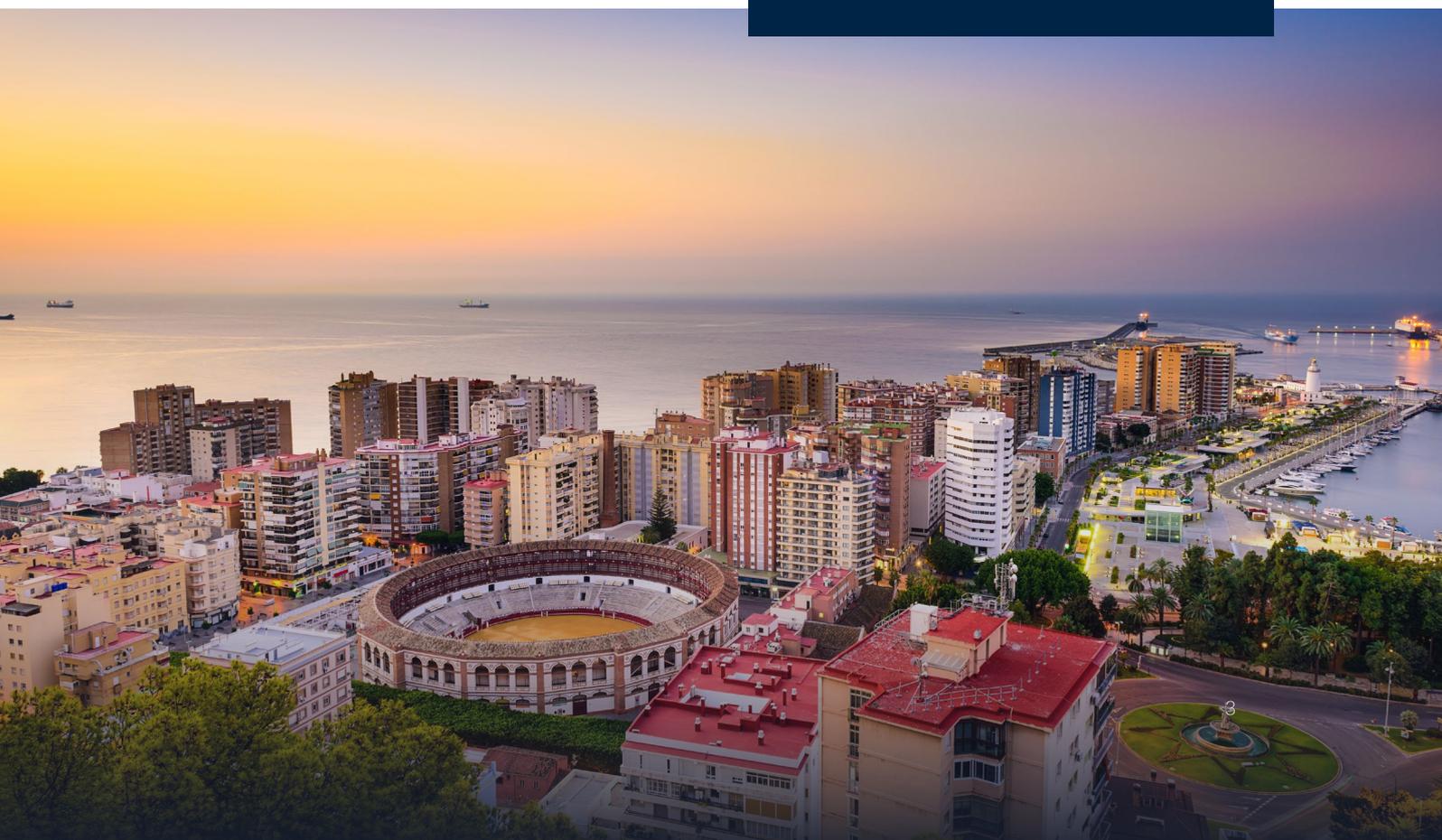
街角、広場、そして古代ローマ劇場、アルカサバや大聖堂などの素晴らしいモニュメントは、マラガの文化遺産です。

昼食時や夕食時には、伝統的なペスカイト・フリート（魚フライ）や「エスペト」（串刺しイワシの炭火焼き）をつまんだり、有名シェフの手による革新的料理を堪能することをおすすめします。

お気に入りの穏やかなビーチでリラックス、または魅力的な歴史公園や庭園での一休みも格別です。

出会ったときから好きになる太陽の街。

▼ マラガ上空からの眺め



マラガ

# 地区ごとに マラガ体験

▲ マルケス・デ・ラリオス通り

マラガの街を巡り、それぞれの地区の特徴を見つけましょう。必見の地区をご紹介します。

## 旧市街

バルやレストランが多くある賑やかな歩行者道を散策しましょう。コンステイトゥシオン広場は、マラガの街の中核を成します。すぐ近くには、サントス・マルティレス教会(15~18世紀)があります。

旧市街では、大聖堂(16~18世紀)の未完の右塔、司教館(16~18世紀)にあり芸術作品の展示が行われるマラガのユニカハ財団文化センターがおすすめのスポットです。ヒブラルファロ山の麓には、古代ローマ劇場(紀元前1世紀)とこの街のシンボルでもあるイスラムの要塞のアルカサバ(11世紀)があります。

ショッピング好きな方は、人気ブランドショップが立ち並ぶマルケス・デ・ラリオス通りに足をのばしてみましょう。



▲ 司教館

## ラ・メルセ地区

マラガ出身の画家パブロ・ピカソの初期を知るなら、メルセ広場を訪ねてください。ここには、ピカソの生家、現在のピカソ生家博物館があります。巨大なオベリスクのトリーホスのモニュメントは注目です。お気に入りのカフェ、バルやレストランで一休みを。またこの地区には、アンダルシアでも歴史が古いセルバンテス劇場があります。

## ラ・ビクトリア地区

マラガでも古い歴史のある人気の地区です。聖週間に訪れるなら、忘れがたい体験となるでしょう。ここには、その重要地点の1つがあります。街の守護聖人、聖マリア・ビクトリア教会です。聖母礼拝堂や印象的な地下聖堂が見どころです。マラガのフェリア（8月）の初日には、数百人もの人々が伝統的な衣装を身にまとい、徒歩あるいは乗馬で聖母と共に練り歩きます。

## エンサンチェ・セントロ地区

港と旧市街からすぐのマラガのソーホーを訪れましょう。グラフィティ、小さなお店、アーティストの工房、そしてレストランやエコロジバルなどを覗いて、この地区がアーバンアートとアンダーグラウンド文化の地と呼ばれる所以を見つけましょう。

旧卸市場は、マラガ現代美術センター(CACマラガ)へと生まれ変わりました。アルフォンソ・カナレス庭園を散策して、「ボトルの木」と呼ばれるトックリキワタを鑑賞しましょう。

## ラ・マラゲタ地区

この街で一番賑やかな地区です。ラ・ファローラと呼ばれる灯台がある遊歩道のレストランで食事はいかがですか。港の第1埠頭では、エル・クボが愛称のガラスキューブでできた高さ16mの建物、ポンピドゥーセンターが目を引きます。ここでは、近代・現代アート作品が常設展示されています。

## ヒブラルファロ山

杉とユーカリに覆われた山の散歩道を行くと、アルカサバを守るために建てられたヒブラルファロ城にたどり着きます。ここからは、街を望む素晴らしい眺望を楽しめます。

## 歴史公園と庭園

自然の美しさに、緑の空間にそびえる建築と歴史が調和しています。

## ラ・コンセプション歴史植物園

3ヘクタールにわたって広がる亜熱帯植物、樹齢数百年のナンヨウスギやヤシの木を想像できますか?ここでは、池、滝、小川、階段、温室や美しいパーゴラなどの景観情景を楽しむことができます。

## マラガ公園

亜熱帯植物が豊富な海を望むパラダイスです。近くには、見ごたえある建物の市役所、スペイン銀行および大学の学長室があります。

マラガ

# 文化

文化を満喫するなら、このアンダルシアの街には数多くのスポットがあります。



サンクトペテルブルクの国立ロシア美術館コレクション  
写真:マラガ観光局

## 美術館・博物館

マラガは、その歴史地区と周辺に数多くの美術館と博物館が集まっています。主なものをご紹介します。

### マラガのピカソ美術館

建物はアンダルシアのルネッサンス様式建築を代表するブエナビスタ宮殿を利用しています。マラガの巨匠画家の80年にわたる創作活動を巡ることができます。

### マラガ・カルメン・ティッセン美術館

特にアンダルシアを中心とする19世紀の絵画が展示されています。この美術館はビジャロン宮殿(16世紀)にあります。

### マラガ美術館

15世紀から現在までの17,000点を超える作品が展示されているアンダルシア最大の美術館の1つです。ここでは、考古学と美術の2部門で構成されています。

## マラガ・ポンピドゥーセンター

この美術館には、フリーダ・カーロ、ルネ・マグリット、ジョアン・ミロやアントニ・タピエスの作品が展示されています。常設コレクションは、20世紀から21世紀にかけてのアートが中心です。

### マラガのサンクトペテルブルグ国立ロシア美術館コレクション

旧王立タバコ工場を舞台にした、ロシア絵画の世界に浸れます。レーピン、カンディンスキー、タトリン、ロトチェンコやシャガールといった画家の作品が展示されています。

### マラガ現代芸術センター(CACマラガ)

旧卸市場の歴史的建物にあり、革新的芸術家の素晴らしい作品を鑑賞できます。

### 自動車と服飾の博物館

豪華絢爛な世界のすべてをご覧ください。復刻版クラシックカー、貴重な芸術作品、トップデザイナーの作品や現代芸術の建築などが見どころです。

# マラガを 味わう

海岸のすぐそばで、街角のテラスで、ミシュランの星に輝く洒落たレストランで・・・好みのスタイルで美味しいマラガの料理をご賞味ください。

伝統料理を楽しみましょう。海岸では、ペスカイト・フリート(小魚フライ)やイワシが一般的なエスぺト(砂浜で調理される細くて長い串刺しの魚介類の炭火焼き)を試してみましょう。

中心地のバルやタベルナ(食堂)は、スペイン独特の食文化を体験するのにぴったりな場所です。タパスを味わってみましょう。エビのアヒージョ(ニンニク炒め)やカタクチイワシの酢漬けはいかがですか。また、アホブランコ(アーモンド、ニンニク、オリーブオイルとビネガーの冷製スープ)やミートボールのアーモンドソースなどの郷土料理もおすすめです。

市内のマーケットでマラガ料理はいかがですか。アタラサナス、サラマンカ、ラ・メルセ、エル・カルメンの各市場で提供される料理には、地元の新鮮かつ典型的な食材が使われています。

上質な前衛料理を楽しむこともできます。二つのレストランがミシュランの星に輝いています。ダニ・カルネロがオーナーシェフを務めるレストラン「カレーハ」と、ホセ・カルロス・ガルシアがオーナーシェフを務めるレストランです。



# 季節ごとのマラガ

マラガを旅するなら、どの季節もおすすめです。快適な気候を楽しむだけでなく、数多くのフェスティバルにも参加してみてください。

## 夏

マラガのフェリア(夏祭り)では、数多くのイベントが催されます。「オー、シー！」フェスティバル、国際室内楽フェスティバル「マラガ・クラシカ」、テラル・フェスティバル、ブリッサ・フェスティバル、サバティック・フェストなど、数え切れないほどの夏の音楽フェスティバルを楽しむことができます。ファッションが大好きなら、野外の300メートルを超えるランウェイで見せるラリオス・マラガ・ファッションウィークをお見逃しなく。



▲ マラガのフェリア

## 秋

ジャズ好きのあなたには、国際ジャズフェスティバルがおすすめです。

11月の数日間、ジャズの巨匠たちの演奏を聴くことができます。

## 冬

この街の穏やかな気候は、ゴルフ、ハイキングや山間の村々を乗馬で散策するなどのアウトドアスポーツに最適です。また、1月から2月にかけては、市内有数の舞台芸術イベントであるマラガ演劇祭が開催されます。



▲ 聖週間

## 春

春には、聖週間の宗教行列で街は厳かな雰囲気になります。4月は、マラガ・スペイン映画祭でスペイン映画を堪能できる機会です。

# ビーチ

マラガの16のビーチからお気に入りを選んで、海と快適な気候を楽しみましょう。

市街地に近く、人気があり、家族で楽しめるビーチなら、ラ・マラゲタビーチがおすすめです。マラガ港とラ・カレータビーチの間にあります。

スポーツを楽しむなら、ラ・ミセリコルディアビーチをおすすめします。マラガ出身の俳優アントニオ・バンデラスの名にちなんだ海岸遊歩道があります。

落ち着いたビーチをお探しなら、緑に囲まれたサン・フリアンゴルフ場海岸を目指しましょう。子供の遊び場、駐車場と海辺のバルがあります。ヌーディストビーチなら、エル・カンダドビーチがおすすめです。



ラ・カレータビーチ

# 自然

グアダルオルセ河口の自然保護区で渡り鳥を観察しましょう。この保護区には、湖と5カ所の観察所があります。

マラガ山脈自然公園には、スポーツをしたりゆっくりと散策を楽しめる5,000haの美しい景色が広がります。ここには、アンダルシアでも最大級のカメレオン生息地があります。



# マラガで**家族** **旅行**

マラガは、家族そろって体験したり楽しんだりするにはうってつけの都市であり、市内には小さなお子様向けの特別プランが用意されています。市内の主要な美術館・博物館は、子供たちがワークショップ、絵本の読み聞かせ、さらにはキャンプまで楽しめるようなプログラムを組み、展示と並行して実施しています。さらに、イマジネーション・ミュージアム、マラガ体験型音楽博物館（MIMMA）、プリンシピア科学センターなど、マラガ県の県都マラガにはキッズ専用の博物館もあります。

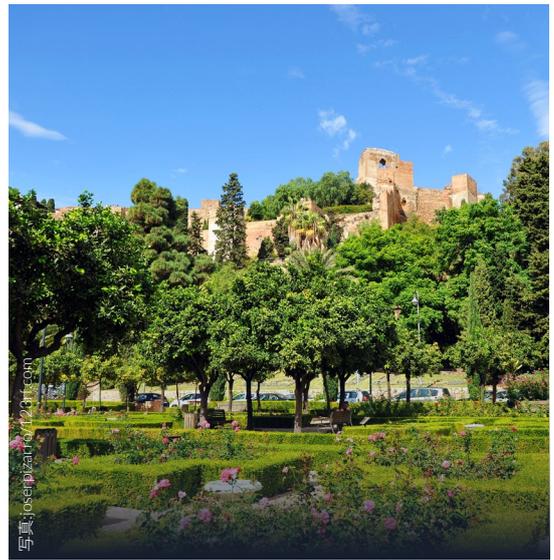
マラガの自然もまた、子供たちにとって理想の場所です。モンテス・デ・マラガ自然公園、ヒブラルファロ山、グアダロルセ川の河口、オエステ公園、ウエリン公園、シネ公園、リトラル公園、エル・モルラコ森林公園、ビレイナ公園のほかにも、子供たちが自然に触れるための選択肢はたくさんあります。

マラガのビーチには、子供用の遊び場、スポーツエリア、夏の野外映画館も設置してあります。ラ・ミセリコルディアをはじめ、サン・アンドレス、ラ・アラゲタ、ラ・カレタ、ペドレガレホ＝ラス・アカシアス、エル・パロ、エル・デド、エル・ペニョン・デル・クエルボなどのビーチは、マラガ県の県都マラガでも特に家族連れに人気のビーチです。

# 隠れ家的**名所**

時間にまだ余裕があり、この魅力的な沿岸の町をもっと楽しみたい方には、まだまだたくさんの見どころがあります。

## 公園と庭園



▲ ペドロ・ルイス・アロンソ庭園

スペインのイスラム文化とフランスの影響を受けたラテン設計のペドロ・ルイス・アロンソ庭園では、オレンジの木々や池、そして美しいバラ園が訪れる人々に癒しの場を提供しています。近くのヒブラルファロ山の斜面には、泉、散歩道、あずま屋やテラスが自然と調和するプエルタ・オスクラ庭園があります。

花のような形に設計されたピカソ庭園では、樹齢数百年のイチジクの木や熱帯植物、そしてミゲル・オルティス・ベロカルが、ピカソへ捧げた像が見られます。

スペイン初のプロテスタント系墓地である英国人墓地には、数々の珍しい植物が見られる19世紀から20世紀の歴史芸術庭園があります。

### 知る人ぞ知る博物館

民芸郷土博物館は、17世紀の宿屋跡の建物で19世紀のマラガの人々の生活習慣を紹介しています。先史時代まで遡るなら、ラ・アラーニャ地区のラ・アラーニャ考古学遺跡を訪れましょう。

絵画、彫刻やグラフィック作品を通してマラガの歴史を辿るなら、マラガ市立歴史遺産博物館 (MUPAM) がおすすめです。

ワイン博物館では、ワイン製造の歴史と試飲を楽しめます。

工芸と装飾技術が好きな方は、昔の工芸地区のサン・フェリペ・デ・ネリを訪ねて、ガラス・クリスタル博物館を見学しましょう。

楽器の世界を覗くなら、音楽インタラクティブ博物館 (MMMA) がおすすめです。

### モニュメント

旧 MARIA・クリスティーナ音楽学校は、ムデハル様式の美しい15世紀の建物です。

アタラサナス中央市場や独特なネオアラブ建築のサラマンカ市場は19世紀のマラガを代表する建築物です。

### マラガの眺望

ヒブラルファロ展望台では、素晴らしい街の展望を楽しめます。プエルタ・オスクラ庭園を通過して到着できます。

### 夜を楽しむ



▲ バル「EL PIMPI」

この街を代表する繁華街のメルセ広場からコンスティトゥション広場にかけてが賑わいでいます。もう少し落ち着いた雰囲気を楽しむ人には、ラ・マラゲタ、ムエジェ・ウノ (第一埠頭)、またはペドレガレホ海岸遊歩道がおすすめです。

マラガ郊外にはマヨール広場やマラガ・ノストラムなどのショッピングモールがあります。



## 街の 散策とルート

マラガ・ピカソ美術館  
写真:Kevin Hellon/123rf.com



▲ マラガ上空からの眺め

ピカソのマラガルートはいかがですか。現在ではピカソ生家博物館となっているピカソの生家で、マラガ出身のこの画家の幼少時代を訪ねた後は、父親が美術の教師を務めていたサン・テルモ美術学校やピカソの重要な作品を鑑賞できるマラガ・ピカソ美術館

を見学します。

古代ローマ時代から現在までの歴史を辿るなら、マラガモニュメントルートがおすすめです。このルートの終点ではヒブラルファロ城を見学します。



▲ ヒブラルファロ城

# マラガ周辺の見どころは？

マラガの観光名所を堪能したら、街の周辺地域を訪ねてみましょう。

## コスタ・デル・ソル

年間で300日以上晴天に恵まれ、美しい海岸、数々の地元のお祭り、そして美食によって、コスタ・デル・ソルはスペインでも人気が高い観光地です。

細い路地の間に白壁の家々が立ち並ぶ村を訪ねるなら、美しい山に囲まれた沿岸の村、ミハスがおすすめです。また、フリヒリアナの美しい旧市街、ネルハの入り組んだ路地、地中海を望む「ヨーロッパのバルコニー」展望台やネルハ洞窟の地下坑道の見学も見どころです。

ゴルフ、マリンスポーツ、乗馬、そしてショッピングなどを楽しめるマルベージャで、ラグジュアリーな滞在を楽しむことができます。

音楽フェスティバルならではの興奮をビーチで味わいたいという方は、トーレ・デル・マールで開催されるウィークエンド・ビーチ・フェスティバルに参加するのがよいでしょう。

161キロメートルにおよぶコスタ・デル・ソルには、エステポナ、フエンヒローラ、トレモリーノス、リンコン・デ・ラ・ビクトリアなど、見どころいっぱい町々が揃っています。

## ロンダ

街を二分する150メートルの深さの峡谷は印象的な眺めです。峡谷をつなぐ3本の橋があり、中でも有名なのは、18世紀のヌエボ橋です。中世の趣とイスラムの影響を残す旧市街を散策しましょう。



▲ フェルト・バヌース  
マルベージャ

## アンテケラ

クリスマスの郷土菓子で名高いこの街では、宮殿、修道院、礼拝堂、貴族の邸宅やアルカサバが見どころの中心地を散策します。メンガ洞窟の支石墓のような青銅器時代の建造物も見学できます。



▲ ロンダ

山岳地帯がスペインでも特に多い県であることがマラガの自慢です。カルスト台地に奇岩がひしめく自然スポット、トルカル・デ・アンテケラのような風光明媚な環境でハイキングを楽しんでみませんか。

マラガの色彩豊かな冬はアーモンドの開花とともに過ぎてゆきます。カサベルメハ、アレナス、アルダレス、カラトラカ、アルモヒーア、ペ



▲ トルカル・デ・アンテケラ

リアナ、グアロといった町が一面、白と桃色に染まります。

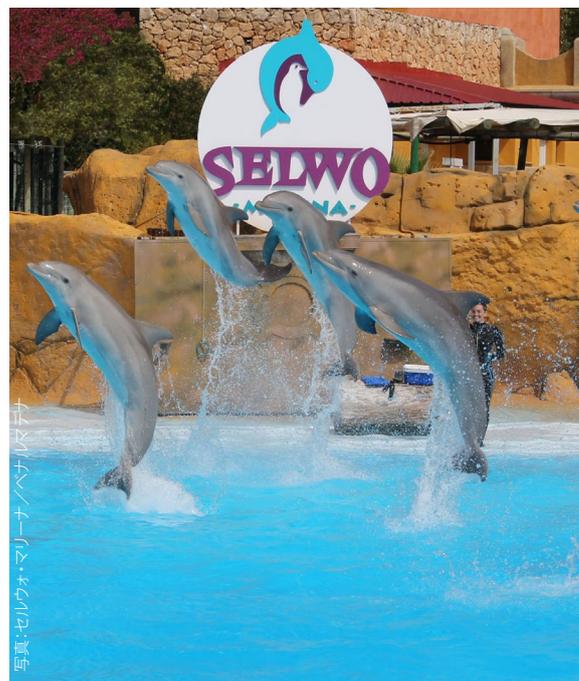
家族そろってマラガを訪れた場合、楽しめるアクティビティの選択肢はたくさんあります。マラガのビーチはどれも穏やかで、家族連れにぴったりの雰囲気があります。小さなお子様が喜ぶものとしては、ベナルマデナ、フエンヒローラ、トレモリーノスといった村まで遊覧船で出かけるプランや、海に出てイルカウォッチングをするプランなどがあります。

マラガには、すばらしいテーマパークもいくつかあります。アクアランド・トレモリーノスを訪れれば、水のアトラクションやミニゴルフを楽

しめます。アクアベリス水上公園では、80メートルの長さを高速で滑り降りたり、波のプールに入ったり、仮想現実には浸ったりすることができます。

マダガスカルや東南アジアのジャングルを覗いてみたいなら、フエンヒローラのビオパークに足を運んでみてください。エステポナにあるセルウォ・アベントゥーラでは、ワクワクしながらアフリカを冒険することができます。ここでは、アフリカの動物に出会ったり、吊り橋を渡ったりすることができるでしょう。アフリカの湖上を飛ぶ長いジップライン「ジフ」にも挑戦してみましょう。

ベナルマデナでは、まずセルウォ・マリーナで、イルカ、アシカ、ペンギンなどといっしょにユニークな体験ができます。また、シーライフでも、海底に生息する驚くべき生物の数々を発見しながら楽しむことができます。



▲ セルウォ・マリーナ  
ベナルマデナ



# マラガへの アクセス



## 列車

高速列車（AVE）によって国内やアンダルシア州の主要市と結ばれているマラガは交通至便。マドリードまでは2時間強の旅です。街中心部にあるマリア・サンブラーノ駅には、近郊列車と中・長距離列車が到着します。

## 飛行機

空港は市内からわずか8キロメートルほどにあります。

## 車

スペイン各地から簡単にアクセスできます。A-92とA-7号自動車道が通っています。

## 船

マラガ港はスペイン本土でも重要な港であり、世界中からの大型船が頻繁に到着します。また、他にもメリージャなどの都市には定期航路の運航があります。

## マラガでの移動

### 地下鉄

中心部から街の東部と大学地区を結ぶ2本の地下鉄が走っています。

### バス

空港へのエクスプレスシャトルを含む広域な路線が整備されています。また、観光バスもおすすめです。

### 近郊列車

マラガとフェンヒーローラを結ぶ沿岸を走ります。もう一つの路線は、郊外を中心とする町アロラまでの路線です。

### その他の移動手段

馬車に乗ったり、レンタル自転車、レンタルバイクやレンタルセグウェイでの散策もおすすめです。



## 詳細

マラガ観光案内所

Plaza de la Marina, 11  
29001 Málaga (アンダルシア)  
[www.visita.malaga.eu](http://www.visita.malaga.eu)  
[visita@malaga.eu](mailto:visita@malaga.eu)

スペイン政府観光局公式サイト

[www.spain.info](http://www.spain.info)



	<p>MINISTERIO DE INDUSTRIA, COMERCIO Y TURISMO</p>	<p>TURESPAÑA </p>
--	--	---

 @spain

 @spain

 Spain.info

 /spain